

毎月 11 日は 「防災を考える日」です

内容

- 1 はじめに
- 2 今月のテーマ「地震発生、その時」
- 3 地震発生時に取るべき行動

"地震の後は、必ず津波に注意しましょう。強い揺れや長時間ゆっくりした揺れを感じた時は、ただちに高台などの安全な場所に避難しましょう。"



高台へ避難！！

気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話番号:

0226-22-3402

FAX 番号:

0226-22-1467

電子メール:

kikikanri@city.kesenuma.lg.jp

はじめに

気仙沼市では、5月26日に開催した防災会議を契機に、毎月11日を「防災を考える日」として、市地域防災計画に位置付けました。

これは、東日本大震災の教訓を忘れず、今後も発生の恐れがある地震・津波などへの備えについて、家庭や地域などで振り返りや点検などを行う機会にさせていただくことが目的です。

今後、市から毎月テーマをお伝えします。震災を振り返りながら、日頃の備えについて、月に1回は家庭や学校、職場、地域で話し合うようにしましょう。

今月のテーマ「地震発生、その時」

今月のテーマは、「地震発生、その時」です。

東日本大震災では地震による大きな揺れのショックで、身体がこわばったり、頭が真っ白になったりして、適切な判断が難しくなった方がいました。

自宅や学校、職場など、様々な場面を想定し、普段から地震が発生したときに取るべき行動について、皆さんで話し合しましょう。

また、普段からイメージしておきましょう。

地震発生時に取るべき行動

◆自宅にいたら・・・

丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机の脚をしっかりと握りましょう。

慌てて外に出ると危険です。揺れが収まってから、慌てず火の始末を行い、出口を確保しましょう。

◆学校にいたら・・・

教室内では、机の下にもぐって落下物などから身を守りましょう。

慌てて外に飛び出さず、先生や校内放送の指示に従いましょう。



◆職場にいたら・・・

職場では、キャビネットや棚、ロッカー、コピー機などから離れ、頭部を守り机の下に隠れるなど、身を守りましょう。

外へ逃げる時には落下物などに注意し、エレベーターは使わないようにしましょう。

◆車の運転中・・・

急ブレーキは事故の原因になります。徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車してエンジンを切りましょう。車を離れるときは、キーを付けたままにしましょう。